

生育量の確保のために適切な管理を行いましょ

1 気象概況

過去 5 ヶ年平均値（平年）と比較して、平均気温は 2 月中旬まで概ね平年並みか低温で推移していましたが、2 月下旬は高温で推移しています。また、降水量は 12 月下旬および 2 月下旬を除いて非常に少なく、平年比 52%となっています（図 1）。

なお、気象庁の 1 か月予報では、気温は平年より高い、降水量は平年並みとなる可能性が高いとされています（表 1）。

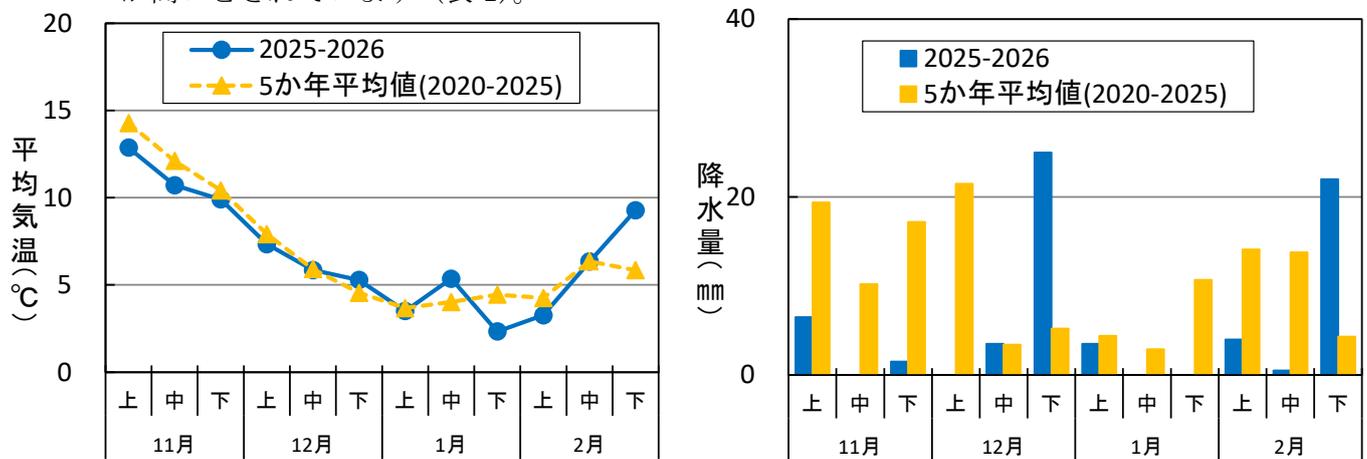


図 1：11 月上旬から 2 月下旬までの気象状況（左：平均気温、右：降水量）

表 1 東日本太平洋側における向こう 1 か月 (2/28~3/27) の気象予報 (%)

	低い（少ない）	平年並み	高い（多い）	備考
気温	20	30	50	高い見込み
降水量	30	30	40	ほぼ平年並みの見込み

気象庁HPより抜粋

2 生育概況（表 2）

これまで低温少雨傾向で気象が推移したため、例年よりも生育量が不足していることが推測されます。しかし、今後の気温は高温で推移する可能性が高いこと、2 月下旬に多雨であったことから、生育は旺盛となる可能性があります。

表 2 調査ほ場の生育状況（2/24 調査）

品種	調査地点	播種日	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	SPAD	莖立期 (※) 予測	
						平年並	+2°C
カシマゴール	古河市 (旧総和)	11/12	14.7	1,223	42.9	3/17	3/14
さとのそら	古河市 (旧総和)	11/29	11.8	260	51.9	3/29	3/24
ゆめかおり	境町	11/25	13.0	370	60.2	3/22	3/17

※莖立期については次ページ参照

カシマゴール (2/24 撮影)



さとのそら (2/24 撮影)

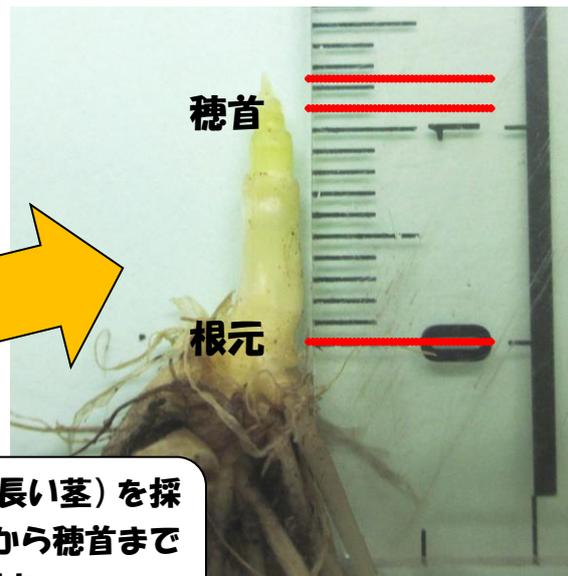


ゆめかおり (3/2 撮影)



※茎立期について

主稈長 (根元から穂首までの長さ) が 20mm となった時。今後の管理作業に関わる重要な生育ステージ。



主茎 (最も長い茎) を採取し、根元から穂首までの長さを測定

3 今後の栽培管理

・ 麦踏み

低温少雨による茎数不足が懸念されるため、ほ場が乾いているときに積極的に麦踏をみ行いましょう（目安は10日に1回）。茎数増加に加えて倒伏軽減や無効分げつの抑制効果があり、収量増加が期待できます。ただし、茎立期（※）以降は生育に悪影響を与えるため注意が必要です。

・ 追肥

①カシマゴール

品種の特性上茎数が増えやすく、細粒多発によるくずの増加や倒伏が懸念されるため、茎立期追肥は原則行いません。千粒重の増加に効果のある出穂期追肥を行うことで、増収が期待できます。

②さとのそら・ゆめかおり

茎立期ごろの追肥は、茎数および一穂粒数の増加による増収が期待できます。窒素量2~4kg/10aが目安となりますが、野菜跡や例年倒伏しているほ場は追肥を控えてください。また、例年よりも明らかに生育量が不足している場合は茎数の確保が重要となるため、茎立期を待たずに追肥を行ってください。

・ 雑草防除

一般的に、低温乾燥年は土壌処理剤の効果が低下する傾向が見られます（低温乾燥により雑草が生育初期に発芽せず、土壌処理剤の残効が切れてから発芽する可能性があるため）。今後、気温が上昇するにつれて一気に雑草の出芽が増えるため、雑草が大きくならないうちに除草剤を散布しましょう。

表3 大麦および小麦に使用できる除草剤の一例

農薬名	適用雑草	土壌処理	茎葉処理	使用時期	使用回数	備考
トレファノサイド乳剤	一年生雑草 (ツクサ科、カヤリグサ科、キコ科、アザミ科を除く)	○	×	播種後出芽前から生育期 (雑草発生前~雑草発生始期) ただし、収穫45日前まで	2回以内	イネ科雑草への効果が高い カラスミギに効果高い
ハーモニーDF(※)	一年生広葉雑草	○	○	播種後~節間伸長前	1回	効果の完成に1か月以上必要
エコパートフロアブル	一年生広葉雑草	×	○	節間伸長開始期まで (雑草生育期) ただし、収穫45日前まで	2回以内	茎立期以降は薬害が顕著となるため使用しない
MCPソーダ塩	一年生および多年生広葉雑草	×	○	幼穂形成期 ただし、収穫45日前まで	1回	

※ハーモニーDFは、小麦のみ「節間伸長開始期~穂ばらみ期（ただし、収穫45日前）」の時期でも使用可能。

資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬使用の際は、使用前に必ずラベルを見て、対象作物、希釈倍率、使用時期、使用回数等を確認してください（令和8年3月1日登録確認）

農薬の新しい安全性評価導入等にとまなない、直ちに使用方法を変更するよう注意喚起される場合があります。その場合は、ラベルの使用方法ではなく、変更後の使用方法に従って使用してください。注意喚起の有無は、農薬の購入先や茨城県病害虫防除所のHP等で確認してください。

○次回は、3月中旬頃に生育情報を作成する予定です。今後の栽培管理についてご質問があれば遠慮なく普及センターまでご連絡ください（TEL：0297-34-2134）。